



「肥後守」を使い続けて約40年。子どもたちは6年間自分の「肥後守」で鉛筆を削っています。創立150周年を記念し、「肥後守」の匠である永尾光雄さんにご来校いただき交流会を開きました。今後も継承される本校の文化です。(会染小学校)

令和4年度 「自主的校内研修補助事業」補助金額のご報告…2～3

土曜公開講座のご案内…3

世界の学校76 ミャンマーダンスから現地理解 久保田智絵美 (ヤンゴン日本人学校)…4

第26回「教育研究論文・教育実践賞」募集のお知らせ…5

リレー通信 わたし自慢³⁹ 「別世界」が待っている 中田達弥 (開智小学校)…5

100年館の絵 田中志保 (上田市立第二中学校)…6

会員ひろば 熊谷拓子 (売木小学校)…6

12月の研修ガイド

3日(土) ●哲学講演会 ◎上伊那教育会館 大会議室 ◇秋富克哉 (京都工芸繊維大学教授)
☆上伊那教育会 0265-72-3416

11日(日) ●諏訪湖水鳥観察会 ◎岡谷市横河川河口周辺 ◇水鳥・冬鳥の観察 ☆諏訪教育会
0266-52-0213

●名称 ◎会場 ◇演題・講師等(講師名敬称略) ☆連絡先

令和4年度

「自主的校内研修補助事業」補助金額のご報告

会員の職能向上のために学校独自に行う校内研修を支援する「自主的校内研修補助事業」について、7月末に募集を締め切り、下記のとおり補助金額が決定しましたのでご報告いたします。

多くの学校よりご応募をいただきました。有効にご活用いただくと共に、次年度も積極的に応募していただきたいと思っております。

自主的校内研修補助事業

No	学校名	①研修内容	②講師（敬称略）	補助金額
1	第一中学校(大町市)	①生徒の思考力・判断力・表現力が高まる「協働の学びを軸とした授業」	②村瀬公胤	20,000
2	新野小学校	①小規模校における子どもの学びを保障する授業づくり、ICTを活用した個別最適化	②佐藤和紀	27,000
3	軽井沢東部小学校	①「読むことを中心とした学級づくり」講演とワークショップ	②岩瀬直樹	24,000
4	松本盲学校	①視覚障がい者の洗顔や化粧の仕方の指導	②今井美和	15,000
5	伊那東小学校	①1記憶に残る研修に2学校から一歩出た価値観に触れる	②宮澤悠維、矢島悟、折山旭	23,000
6	伊那北高校	①スクールカウンセリングからみえる高校生の実態と教職員のかかわり	②浦野圭子	11,000
7	御代田中学校	①命の大切さを再認識する「苦しみや悲しみに向き合うことについて」	②佐藤敏郎	28,000
8	飯田東中学校	①ものごとを根本から問うこと 校内哲学研修会・講演会	②福谷茂	28,000
9	八坂中学校	①「真正の学び」研修会 授業研修会	②村瀬公胤	25,000
10	明科中学校	①「小中一貫教育実現に向けた取組とその成果」	②峰村均 ※明科3校合同開催	19,000
11	日野小学校(中野市)	①子どもたちが主役となって学び合う授業づくり	②村瀬公胤	24,000
12	東中学校(須坂市)	①自由進度学習の研究、GIGAスクール構想の推進	②増田和彦、小山儀秋 他	28,000
13	旭町小学校	①「子どもと共に作る探究的な学び」職員研修会	②宮下昭夫	24,000
14	豊科北中学校	①相互尊重・互恵的な「学び合い」の授業への改善	②佐藤学、草川剛人	27,000
15	城南中学校	①校内の人権同和教育推進、教師自らが理解を深め授業構想に生かす	②小橋久男、高橋典道	24,000
16	春富中学校	①「学びの転換」教える授業から、「学ばせる授業」へのシフト	②佐藤学	27,000
17	岡谷田中小学校	①教員一人一人の子ども把握力、教材把握力、授業技術力の向上	②志水廣	25,000
18	戸狩小学校	①子どもの願いを大切にしたい授業づくり	②畔上一康	25,000
19	和田小学校(飯田市)	①一人一人が感性や想像力を働かせ表したい思いを伸び伸びと表現できるようにするための絵画指導のあり方	②丸山陸雄	24,000
20	八坂小学校	①子どもたちが主体的に学び合う授業づくり	②村瀬公胤	24,000
21	木島平中学校	①「協働的な学び」の実践者を研修協力者として招聘し、授業公開・研究会を通して指導力向上を目指す	②小国喜弘、佐藤学	22,000
22	伊那西小学校	①児童の思考力・判断力・表現力を伸ばすためのICT機器の活用のための教材費として		18,000
23	中野小学校	①「学び合う授業」を目指した授業公開や授業研究会をもとに、日々の授業改善につなげる	②小国喜弘	24,000
24	上諏訪小学校	①「子どもが豊かな心を育ていく学習」	②茅野公徳、畔上一康、奈須正裕 他	27,000
25	手良小学校	①Q-Uについて理解を深め、事例検討をすることでチーム意識を高める	②加藤敬一	26,000
26	筑摩小学校	①「聴き合い語り合い」の研修で小グループになり、「えんたくん」を囲んでのワークショップ 教材購入費		21,000
27	若槻養護学校	①自立活動に関する専門書や実践書などを用いた研修を実施し、専門性向上を図るための書籍購入費		20,000
28	浪合小学校	①「はじめに子どもありき」の考えのもと、子ども観、子どもの見取り、教材などを学び、日常の授業に生かす	②平野朝久	19,000
29	麻績小学校	①主体的・対話的で深い学びの実現	②佐藤和紀	25,000
30	阿南第一中学校	①「学びの個別化」「学びの個性化」につながる学習の振り返りと自己調整を図る	②桐生徹	28,000
31	穂高東中学校	①ICT機器を効果的に活用する授業展開や家庭学習の検討		24,000
32	開田小学校	①演劇教育のワークショップ「自己決定のできる子どもを育てる」	②小林英樹	26,000
33	高社中学校	①器械運動(跳び箱)における「学び合い」はどうあるべきか、学び合いを深めるためのICT機器の使い方はどうあるべきか	②村瀬公胤	21,000
34	西春近南小学校	①互恵的な「学び合い」の授業への改善	②佐藤学	20,000
35	松本養護学校	①特別支援教育にかかわる職員の専門的知識を高めると共に、研修担当職員の発信力の向上を図る	②宮内、北澤	12,000
36	箕輪中部小学校	①Q-U研修を通して学級集団作りや個の支援について、よりよい方法を学び共に考えていく	②加藤敬一	25,000
37	大町西小学校	①「協働の学び」の実践について、これまでの実践を振り返ると共に、今後の授業改善に向けた課題を明確にし、確かな実践力をつける	②村瀬公胤	21,000
38	西春近北小学校	①突発的な出来事が起こった時の対応について学び、今後の学級経営や生徒指導に生かす	②小澤エミ	22,000
39	埴生中学校	①「chromebookを活用した4人グループの学び合い」	②松坂真吾	27,000
40	赤穂東小学校	①自分の考えを持ち、自分で判断し、自ら実践する子ども		27,000
41	豊科北小学校	①「学び合う教室」の具現	②佐藤学	24,000
42	長野盲学校	①有志による自主的な研修 書見台作成、中途失明の方のお話と座談会、暗視カメラ体験等		13,000
43	伊那中学校	①探究・プロジェクト型学習 InachuMyChallenge を起点として ※令和5年1月23日に伊那中学校公開を予定		25,000
44	穂高西小学校	①特別支援学級に入級している子どもたちが漢字を書いたり読めたりできるようになりたいという願いを実現する漢字教材(初級、中級、上級)の活用		22,000

45	東春近小学校	①発達障がいのある子どもの特性について理解し、子ども一人一人に合った学び方や支援の工夫について考える ②福島徹、渡辺孝次	22,000
46	小川小学校	①音読・朗読スキルアップ講座 ②今井理恵子	28,000
47	大町東小学校	①「協働の学び」を軸とした授業づくりの実践 ②村瀬公胤	17,000
48	西小学校(上田市)	①「習得型」の授業から、新たな「探求型」の授業への転換 ②村瀬公胤	25,000
49	長谷小学校	①図書館の有効活用と「読書好き、本好きの子」にするための研修	19,000
50	高瀬中学校	①学校教育目標「自ら拓き 共に生きる生徒」に向け、日々の授業改善を図る ②村瀬公胤	26,000
51	中野平中学校	①働き方改革推進 ②大野大輔	25,000
52	高遠中学校	①新学習指導要領に基づく、教科における指導と評価のあり方についての研究	26,000
53	西箕輪中学校	①授業のユニバーサルデザイン化の研修	23,000
54	鼎小学校	①児童のコミュニケーション能力と協働的な学びへの意欲を喚起するための研修 ②竹中雅之	21,000
55	泰阜中学校	①同和教育研修、電子黒板研修、村理解研修 ②宮下健司 他	21,000
56	菅平中学校	①授業づくり研修 ②村瀬公胤	17,000
57	菅平小学校	①授業づくり研修 ②村瀬公胤	24,000
58	旭ヶ丘中学校	①アセスメントについて学校心理学の視点から深める研修 ②上村恵津子	26,000
59	高遠小学校	①ICT活用教育、子ども理解、食育、総合的な学習の時間等の研修 ②小澤エミ、加藤敬一、池上浩人 他	26,000
60	中沢小学校	①歌唱表現、発声の基礎、合唱の楽しさや表現等についての指導技能を高める研修 ②富澤裕	29,000
61	千栄小学校	①地域教材の掘り起こし及び職員の親睦を深める	25,000
62	田口小学校	①算数授業のユニバーサルデザインについての研修 ②志水廣	23,000
63	野沢小学校	①野沢小学校の目指す授業についての研修 ②村瀬公胤	26,000
64	望月小学校	①より良い子どもの学び合い学習の成立に向けて ②中島一彦	23,000
65	箕輪西小学校	①支援が必要な子への対応、地域を知る、授業力向上等の研修 ②小林里恵子、柴秀毅 他	24,000
66	信大附属特別支援学校	①特別支援教育の基礎知識・客観的視点の研修、特別支援学校教員としての専門性を高める研修 ②矢島悟	30,000
67	源池小学校	①SOSの出し方に関する教育、「主体的で対話的な深い学び」の実現に向けた授業改善等の研修 ②北澤光子、中塚洋介	26,000
68	白馬中学校	①「個別最適な学びと協働的な学びの一体化」の推進 ②谷塚光典	24,000
69	延徳小学校	①「聴き合い、伝え合い、考え合う子ども ~ひとりひとりが安心して学べる教室~」 ②小国喜弘	29,000
70	塩尻西小学校	①総合的な学習の時間などにおいて、子どもたちが主体的に学ぶ力を育むために授業研究や子どもの学びを見つめる ②村松浩幸	20,000
71	上松小学校	①地域学習の教材化、地域に学ぶ研修の実施 ②坂巻智宏、山戸忠	27,000
72	豊田小学校(中野市)	①子どもたちの人間関係づくり ②村瀬公胤	27,000
73	松本ろう学校	①聴覚障がい教育及び発達障がい等にかかわる専門性の向上を図ると共に、教職員間の和を深める ②庄司和史 他	25,000
合計補助金額			1,715,000

「短期視察研修補助事業」は引き続き募集しておりますので、ぜひご応募ください。

【第4回】
土曜公開講座

講座形式：対面(信濃教育会館)
& オンライン (Zoom)
★対面参加者は、講義後個別相談可

日程：
令和4年12月17日(土)

申込み締め切り：
令和4年12月2日(金)

時間：
(入室開始9:45) 10:00~12:00

講師：**奈須 正裕**
(上智大学教授)

テーマ：
『個別最適な学びと協働的な学び』

**子どもが学ぶとはどういうことが
目指したい教師の姿とは何かを
本気で考える120分**

【申し込み方法】
参加希望の方は下記①②いずれかの方法でお申し込みください。
申し込み締め切り日以降、当日の参加に関する連絡をメールにてお知らせします。

①Google フォームより
オンラインで申し込みください

②QRコードが読み取れない場合、下記にご連絡ください。
信濃教育会教育研究所：kenkyujo@shinkyoo.or.jp

私の授業、子どもが主体の
学びになっているのかなあ？

その子の学びを
評価するって
どういうこと？

何から
始めればいいのか？

チョーク&
トークの何が
いけないの？

協働的な学びを進めた
けれど、
時数が気になる…

協働って
何？

そもそも学校で学ぶ意味
って何だろう？

知識や技能の定着
も大事じゃない？

**今、一緒に
考えてみませんか？**

**「子どもが学ぶとは・・・」
「目指すべき教師の姿とは・・・」**

今、本気で考えるとき！！



ミャンマーダンスから現地理解 ～ミャンマー・ヤンゴン～



ヤンゴン日本人学校 久保田智絵美

ミャンマー連邦共和国の旧首都ヤンゴンでは、毎年春、「黄色い絨毯」が道路を覆います。日本でサクラが春の訪れを告げるように、ミャンマーでは、一年に一度だけ黄色い「パダウ」が咲き、雨季の到来を感じさせます。パダウの花が咲いた日は、ミャンマーの人々はパダウを髪飾りにしたり、お店に飾ったりします。学校の校庭にもパダウの木がありますが、満開に咲いた日には校舎まで匂いが漂ってきます。



ミャンマー連邦は、北緯10度から28度の間に位置し、面積は約680,000km²（日本の約1.8倍）、南北に伸びる長い国土が特徴です。タイ、ラオス、中国、インド、バングラデシュと国境を接し、約135もの民族が居住しているのも特徴の一つです。

ヤンゴン日本人学校は、ヤンゴンの南部にあり、すぐ近くでシュエダゴンパゴダ（日本でいうお寺）が黄金に輝いています。子ども達は、朝からお坊さんの托鉢や一日の始まりの活気ある露店などを目にしながら、車で通学しています。



今年度3年ぶりに対面授業が叶ったヤンゴン日本人学校では、コロナ前までできていた校外学習がほとんどできないのが現状です。その中で現地理解をすすめるためと体力増進を目的にミャンマーダンスを取り入れた授業を行いました。現地のスタッフさんをお願いして、新年に行われるティンジャン祭りで踊られるダンスをしました。ティンジャンは4月新年に行われるミャンマー最大の祭りです。

ミャンマーにいてもミャンマーの人々が日々をどのように暮らし、その中で何を楽しみとしているのか知らない子ども達も多いです。今回のミャンマーダンスの振りの中には、平和を願う神様や水撒きの形がありました。全体的に柔らかな振りをするミャンマーダンスは踊りやすく親しみやすいと好感をもたれました。



学校公開日に行った授業であったため、全校園児児童生徒、保護者、職員とみんなと一緒に踊ることができました。当日は現地のスタッフさんや現地採用の先生とお揃いで、ミャンマーで昔から着られている波模様柄のロンジー（ミャンマーならではの衣装）やスカートを着てダンスに臨みました。

子ども達からは「文化祭でも踊りたい」と、保護者の方からは、「ミャンマーにいたが、なかなかダンスをする機会がなかったので、良い機会をもらった」という感想をもらいました。ミャンマーのダンスや衣装を通して、現地のスタッフさんとかかわり、一緒にミャンマー文化を楽しむ良い機会となりました。



今後も、日本文化の学びとミャンマーにいるからこそできる学びを深める中で、グローバルな視点で物事を考えられる子ども達の育成に携わってまいります。

第26回「教育研究論文・教育実践賞」募集のお知らせ

目々の実践を
応募して
みませんか

作品内容	1 目標達成や課題解決のための自主的、継続的な研究や実践をまとめたもの 2 指導や支援による子どもの変容や成長をまとめたもの 3 会員にとって学びがあり研究や実践の参考になるもの	
募集内容	▪ 学習指導 ▪ 生徒指導 ▪ 教材・教具の開発 ▪ 心の教育 ▪ 特別支援教育 ▪ その他教育全般 特別テーマ「学校づくり」 ▪ 学校マネジメント ▪ 教育改革 ▪ 校種間・地域連携 ▪ 学校事務 ▪ その他	
部門	個人の部 / グループの部（2名以上）	
応募資格	信濃教育会会員であること	
表彰	特選：賞金10万円・楯・賞状 入選：賞金3万円・賞状 奨励賞：図書カード（2千円分）	準特選：賞金8万円・楯・賞状 佳作：賞金1万円
提出先／締切り	小・中・特別支援学校 → 各教育会事務局 高校・大学 → 信濃教育会	令和5年1月13日（金）必着 令和5年1月20日（金）必着
問い合わせ	信濃教育会「教育研究論文・教育実践賞」係 TEL 026-235-1608	

詳細は信濃教育会ホームページをご覧ください。



わたし自慢 ③9

「別世界」が待っている



開智小学校 中田 達弥

土曜日の早朝、ごくたまに私は東京湾の海上にいる。目的は「シーバス（スズキ）釣り」だ。子どもたちを下校させ、残った校務を片づけて過ごしていた放課後からたった10時間後には、朝日を浴びながら羽田空港を背にしてシーバスを釣っている。そのギャップにまるで別世界にいるような感覚に陥る。

きっかけは釣りを趣味にしている同僚の先生に誘ってもらったことだった。特別上手なわけでも、



知識があったわけでもない私だが、シーバスが針にかかった時の引きの強さと、釣り上げたときの達成感から一気に虜に

なった。ただ、頻繁に行けるものでもなく、数か月に一回だけの開催だ。だからこそ当日が本当に待ち遠しい。何より「これをがんばったら、あの別世界が待っている！」と仕事に対するモチベーションを上げてくれるのだ。教員として働き始めて4年。仕事にも徐々に慣れてきて、やりがいを持てるようになってきたが、正直、忙しさや大変さを感じる日々の方が多い。しかし、それを乗り切った先に、学校生活とかけ離れた別世界が待っていると思うと、俄然やる気が出てくる。何より子どもたちとも前向きにかかわることができている気がする。そんな世界を教えてくださいました同僚の先生には感謝しかない。

この間、一緒に行った友人が90cmちかくの「サワラ」を釣っていた。「羨ましい…。同じようなサイズの魚を自分も釣るしかない！」そんなことを考えて、明日からも全力で仕事に取り組んでいく。

予告



「多様性を大切に」
「教育活動」

この作品の作者、日野菜々子さんは、絵を描くことが大好きで、描いた作品を私に見せてくれるときの笑顔が印象的です。
今回選ばれた『大好きな私の家族』の作品は、愛犬のマカロンちゃんを、色鉛筆で描いたものです。毛並み一本一本を表現しようと、線の長さや太さにもこだわりながら、色を重ね、丁寧に仕上げました。この作品からは、菜々子さんの愛犬を思う優しさがたく

さん伝わってきます。
描くという芸術活動の中で最も大切なことは、感性を磨き、主体性を身につけ、独創的に自分自身を表現し作品にしていくことだと思います。生徒たちは、作品を完成させることに驚くほどの成長を見せてくれます。人それぞれ違うからおもしろいのです。のびのびと制作できるための環境づくりを、これからも私は大切にしていきたいと思っています。

指導者
田中 志保 (上田市立第二中学校)

100年館の絵

令和3年度 永年保存作品
今を生きる子どもの絵



「大好きな私の家族」
日野菜々子 (上田市立第二中2年)

信濃教育博物館所蔵

会 員 ひ ろ ば

5年生の案山子



9月。稲穂が頭を出してきている。大事な稲を守るためにと、案山子作りを投げかけると、ポケモンのピカチュウと、イーブイを作りたいという子どもたち。難しくて、普通の案山子も作ろうと、持ってきた古着のワンピースを見せると、一人ひとり順番に試着して笑い合う。そして、設置できたと思ったら、ざんざん降る雨で、一日でボンドでつけたピカチュウの耳が取れてしまった！田んぼから、みんなで、大変です！救急です！ピーポーピーポー！と教室へピカチュウ案山子を運んできた。どこからか、湧き出すような楽しいパワーがある。様々なことはあるけれど、子どもたちの心は、風に揺れる稲穂のように柔らかくたくましく強いのだと教えられる。さあ、稲刈りだ。

(売木小学校 熊谷拓子)



教職員川柳

なぜいるの？ たまの休日 妻の一言 (赤ちょうちん)
昼休み 本にひかれて 図書館へ (縁起もの)
国語科も 読めぬ生徒の 心情よ (四蔵法師)

ご応募お待ちしております。

投稿はメールでお願いいたします。kaihou@shinkyu.or.jp

「信濃教育会報」カラー版は信濃教育会ホームページの「会員のページ」でご覧いただけます。

